

第十三回

日本漆喰協会作品賞

the 13th competition of japan shikkui



第十三回

日本漆喰協会作品賞

the 13th competition of japan shikkui



伝統の良さを今に伝えて

日本漆喰協会は、日本の伝統的な左官工法による安全で健康的な建築文化を後世に継承して行くために、国内の主だった関連企業が結集して設立されたものです。



作品賞の目的

過去3年以内の国内の漆喰やドロマイトプラスターを使用して創作された作品の中から日本の伝統的な不燃建築仕上材である漆喰の普及、技術の向上を図り、安全で環境と人に優しい漆喰工法による建築文化を後世に継承していくための一助となること、併せて漆喰関連業界の発展に寄与することを目的とし、社会的、文化的見地から特に優秀と認められる漆喰を使用した作品の表彰を行う。

目次
Contents

ごあいさつ	04
Greetings	

審査総評	05
Judge	

入賞作品	08
Win a Prize	

住所リスト	33
List of Address	

漆喰とは	37
What a great Shikkui.	

不燃材料	39
Shikkui is incombustible material.	

ごあいさつ

作品賞の役割と成果

建築関係の賞において、建築家と受注したゼネコンが受賞の対象になっても、この2者と並んで職人も対象になるのは漆喰協会の作品賞くらいしか寡聞にして知りませんが、ただ勉強不足であるとお叱りも受けるかも知れません。

漆喰という材料は施工する職人さんの手を通じて初めてユーザーにとっての用役である漆喰壁となります。そのような最終形態を取っていない材料商品は他にもありますが、土壁や漆喰壁ほど建築士や職人のこだわりや思い入れがこもる仕上げは少ないでしょう。だからこそ漆喰仕上げをメインとした作品賞という存在に何の違和感も無いのだろうと思います。そこには大工と左官を中心にして進化してきた日本の建築という歴史的背景もあります。

漆喰の普及拡大を目指すために漆喰の調湿・消臭・抗菌と言う機能性を訴え、それに関連して化学物質放散自主認定制度を整備し、歴史的に不燃材料とされている漆喰の運用現場での曖昧さを排除するために不燃材料としての正式な認定も取得しました。

これらは漆喰の機能性に関する定性的な特徴を客観的な評価に耐えうる定量的な基準へ進化させたものですが、作品賞の評価は定量的なものではなく、意匠性・審美性、さらに職人の技術や建築の意図など様々な要素を考慮して議論されます。それ故に審査委員会の議論は多岐に亘り、また技術委員による現場を目視で確認するという手間をかけて、さらに議論を重ねた上で最終的に選出されています。

このような手間をかけた作品賞ですが、その役割は漆喰壁で実現できる意匠性・審美性を広く世間に訴求する事でしたが、同時に漆喰壁がもたらす顧客満足度の高さとした工事に関わる事の充実感を業界内で再確認する事でもあったと思います。

日本漆喰協会
会長 行平信義

■審査委員

審査委員長	後藤 治	
審査副委員長	三原 斉	
	難波蓮太郎	石川隆司
	興石直幸	田村雅紀
	行平信義	鳥越宣宏
	駒形忠晴	(順不同、敬称略)

審査総評

本年度は、21 の応募作品のうち、12 の作品が選ばれた。選ばれた作品をみると、姫路城、東京駅といった著名な作品はないが、いずれも力作ぞろいで、全体的に作品としてのレベルが高いことがわかってもらえると思う。その点では、小規模な住宅のような作品にとっては、本年度は少し不利だったといえるかもしれない。

作品レベルの向上は、本賞の存在が関係者の間で定着しつつあることを、物語っているように思う。その一方で、漆喰の社会への普及という本賞の本来の目的からいえば、応募作品がもっと増えてほしいところである。そのため、賞の在り方をそろそろ見直しではどうか、ということも審査委員会の席では議論された。

選ばれた作品をみると、工事内容は、新築、改修、修繕、インテリア、フレスコ画と様々である。また、種別をみても、公共施設、寺院、宿泊施設、個人住宅、文化財等と、こちらも様々である。建築作品を表彰する様々な賞があるが、かつては、新築以外は対象としない建築の賞が多かった。最近でこそ、リノベーションが流行になり、新築以外の工事についてもその対象とする建築の賞が増えつつある。とはいえ、本賞ほど多様な作品が選ばれる賞は少ないのではないだろうか。それだけでも、本賞の存在意義は深いと思う。

私は、歴史的建造物の保存修復を専門分野としているが、保存修復のための工事が全国規模で表彰されることはほとんどない。著名な文化財は、報道等でもしばしば取り上げられるからそれでもよいが、大半の文化財は人知れず修復工事が行われている。そうした工事に光をあててくれている点でも、本賞はありがたいと思う。

本年度より、審査委員長の大役を仰せ付かったが、様々な本賞の意義をふまえて、もう一度、原点に立ち返って、本賞並びに漆喰の普及に、微力ながら貢献することができればと思う次第である。

審査委員長
後藤 治

W in a Prize



選考評

歴史を感じられる建物の風格を、淡い色漆喰が素材感を残しながらしっかりと伝えている。自ら作業に加わりながら、妥協せず可能な限り以前の姿を取り戻そうと設計・施工・左官へ積極的に働きかけた施主の情熱は地元の宝を復原するに至り、本作品は国の登録有形文化財ともなった。情熱とともに後世へ伝えるべき財として活用いただきたい。



所在地	三重県志摩市阿児町神明前方 693
竣工	2017 年 10 月 31 日
設計者	m5_architecte 一級建築士事務所 六浦基晴
施工者	東原建築工房 東原達也
左 官	佐藤左官 佐藤重美

受賞者のコメント／設計者 六浦基晴

この旧猪子家は、約 2800 坪の森の中に建ち、「志摩における文化のプラットフォーム」となるべく、様々な人たちが関わる場所である。施主や施工者の深い地元愛を表現するため、この漆喰の中には、真珠を加工する際に出る真珠粉を混ぜ込んでいる。今後この場所が志摩の発展のため、地域で深く根付いていくことを切に願う。



選考評

左官が漆喰で創ることができるのは直線や平面だけではない。本作品のような曲線の多いデザインを柔軟に表現することができる。作品では木と漆喰、さらに光が良く調和しており、柔らかなアーチ形状が多用される中、端部に至るまで優しさと気品の感じられる丁寧な施工がなされている。



所在地	東京都練馬区関町北 4-16-11
竣工	2017 年 9 月 30 日
設計者	株式会社塩田設計事務所 塩田純一
施工者	株式会社佐藤秀 小山恒雄
左官	有限会社木村左官工業所 木村一幸

受賞者のコメント／設計者 塩田純一

女子の学校らしさを出す為に壁に曲線を多用しましたが、この部分に漆喰を使用することで、より女性らしい優しさ、柔らかさを出す事ができるのではと考えました。また、壁面を照らすように間接照明を用いましたが、この光が漆喰の壁に反射する事で、暖かく柔らかな空間になったのではと思います。



選考評

京都五山のひとつ、臨済宗の名刹における増築工事である。新たに建てられたものでありながらそこに数百年にわたる時間の違和感はない。多くの制約に対応しながら重ねて検討された施工仕様と、伝統技術に優れた左官の技巧によるものであろう。本作品の設計方針とされた「伝統と現代の融合と対比」という言葉通りの作品となっている。



所在地
竣工
設計者
施工者
左官

京都府京都市上京区相国寺門前町 701
2017 年 9 月 1 日
株式会社竹中工務店 野田隆史・二宮卓也
株式会社竹中工務店 八田寛之・笠 義秀
木津工業所 木津恵雄

受賞者のコメント／設計者 二宮卓也

京都御所の北、臨濟宗相国寺派寺務棟の機能拡張を目的とした増築計画である。六百年の歴史を持つ境内の深い静寂と陰影を湛えた環境に配慮しつつ、漆喰の外壁は1・2階で真壁と大壁を切替え、伝統と現代の融合と対比を表現した。漆喰は凛としながら優しい表情を併せ持つ素材で、周辺環境や光の変化を映し込み、環境と建築の融合と対比を表現する建築の構成要素として相応しいと考える。



選考評

工事翌年の平成 30 年に国の重要文化財に指定された、歴史的価値を有する明治期の迎賓施設である。耐震補強等の大規模改修のなか、当時の姿への復原を目指し写真等をもとに行われた屋根工事において、古い瓦の上に再施工された屋根漆喰の白く勇壮な姿が特に際立っており、建物全体を引き締めているようにも感じられる。



所在地	群馬県前橋市大手町 3-15 ほか
竣工	2017 年 4 月 1 日
設計者	特定非営利活動法人景観建築研究機構
施工者	株式会社竹中工務店 北関東支店
左官	株式会社あじま左官工芸・群馬県左官工業協同組合（協力）

受賞者のコメント／設計者 特定非営利活動法人景観建築研究機構

明治 43 年に一府十四県連合共進会の貴賓館として竣工。現在は前橋市の文化財として市民に利用され、地域のランドマークとして親しまれている。

築 100 年以上が経過し、耐震改修及び活用を目的とした保存整備工事がおこなわれた。屋根は葺き工法で葺き替えられ、屋根漆喰は重量軽減を図りつつ復元的改修がなされた。文化財を後世に伝える使命に、卓越した技術と経験で見事に応えていただいた。



選考評

近年人気の古民家再生の作品である。古民家と漆喰はやはり相性が良い。古色の木材と、漆喰の白のコントラストが美しく、古民家でありながらも古臭くないモダンな雰囲気が醸し出されている。リビングや和室などに漆喰を多用しながら訪れる客をもてなす工夫がなされているほか、細部にわたり左官の丁寧な仕事ぶりがうかがえる。



所在地 静岡県静岡市駿河区根古屋
 竣工 2018年2月5日
 設計者 一般社団法人静岡県古民家再生協会 ミツ井 仁
 施工者 すまい工房 有限会社ミツ井工務店 ミツ井 孝
 左 官 有限会社山梨工業 山梨直人

受賞者のコメント／設計者 ミツ井 仁

築80年の民家。そこには、ご家族の想いがたくさんつまっています。

世代を超えて繋げてきたこの民家を、子ども達や未来の家族へどのように繋げていくのか。今、この世代で考えることで、繋がる可能性は広がります。ご家族は、伝統住宅の良き部分はつなげつつ、現代の生活環境を取り入れ、この民家での新しい生活が始まります。



選考評

地域医療の統合拠点として新たに建てられた病院の、休息ラウンジに描かれた木々花々のフレスコ画である。絵画に描かれた情景に加え、漆喰の質感が伝わる絵画を観ることで、入通院している患者や見舞客、医療機関の職員の心身がリラックスされて、より快癒につながることを祈りたい。



所在地	栃木県栃木市大平川連 420-1 とちぎメディカルセンターしもつが内
竣工 施工者	2016 年 5 月 1 日 福島恒久
左 官	福島恒久

受賞者のコメント／施工者・左官 福島恒久

「桜梅桃李」。この言葉には、「それぞれ独自の花を咲かせる」という意味があります。

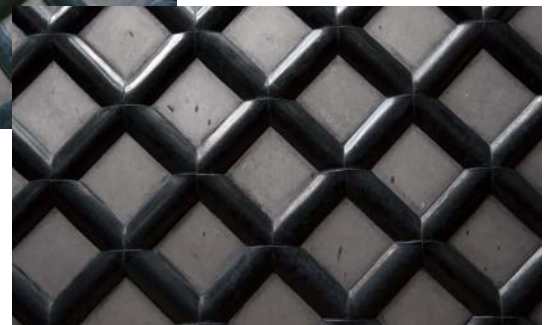
春は生命の芽吹く季節、厳しい冬を乗り越え希望に溢れるイメージにしました。大きな樹の幹は、生命力の象徴として配してあります。

全ての患者の方々、御見舞の方、そして病院業務に携わる医師、看護師やスタッフ、多くの方々に向けての作品です。快癒を願う意味で、背景を晴れ渡る青い空にしました。



選考評

各地から集まった腕利き左官たちの技の集大成である。熟達した左官同士の連携があっても壁の磨きやなまこ壁の磨きは一人で一日に仕上げられる量は限られている。作業期間や工事予算が大幅に超過する中でも妥協せず、見事な大作を完成に至らせた左官の熱意をなにより感じてもらいたい。また、これらの技巧を継承する左官が数少ないことに警鐘を鳴らすべきであろう。



所在地	宮城県柴田郡村田町大字村田字町 54
竣工	2017 年 3 月 31 日
設計者	株式会社三浦建設 三浦 稔
施工者	株式会社三浦建設 三浦 稔
左 官	庄司左研 庄司 徹

受賞者のコメント／左官 庄司 徹

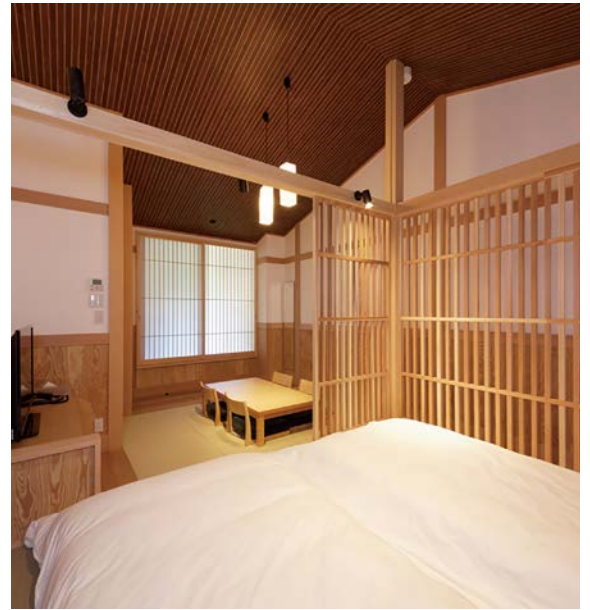
縁があって、宮城県で初めて伝統的保存郡に指定を受けた村田町の蔵の修理工事に携わることができました。工期的にも技術的にも大変な工事でしたが東北各地から左官の仲間にも手伝ってもらい工事を完了することができました。

このような工事に御協力くださいました関係者の方々に感謝申し上げます。



選考評

国内を代表する観光地の旅館でゆっくりと漆喰と触れあうことができる。真っ白な漆喰壁の質感は、清潔感があるだけでなく、周囲の木材の色味との組み合わせで、高級感、あたたかみ、落ち着きなど様々な雰囲気を演出できることが良くわかる作品である。わが国のみならず、様々な国からの宿泊客に漆喰を感じてもらいたい作品である。



所在地	神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817-77
竣工	2017 年 7 月 15 日
設計者	株式会社 KADO 一級建築士事務所 笠松 豊
施工者	株式会社フレンズ・建築事務所 田子保隆
左 官	株式会社かべ将 遠藤将士

受賞者のコメント／設計者 笠松 豊

年々人気が高まりつつある箱根は外国人観光客から注目を集め毎シーズンの宿泊者数は増加傾向にある。そんな中で立ち上げられた本プロジェクトは外国人利用者を視野にいたした「和モダン」旅館とした。当初より予算が厳しいなかでも漆喰壁を採用して日本の伝統を感じていただく事に主眼を置き、質を落とす事なく空間を演出した。



選考評

国産素材、とりわけ地産にこだわって取り組む中で出会った素材や地元の熟練した職人による住まいづくりが行われている。漆喰だけでなく使用されている素材の一つ一つへのこだわりと、大工と左官とがしっかりと連携をとった細部に至るまでの仕事へのこだわりを表現している、住宅会社のショールームである。



所在地	福岡県久留米市津福本町字松尾 834-4
竣工	2018年2月11日
設計者	株式会社未来工房 片多和也
施工者	株式会社未来工房 樋口 諭
左 官	高山左官店 高山 富昭

受賞者のコメント／設計者・施工者 関 隆司

家づくりはこうあるべきではないか、もしくはこうあってほしいという理念・考え方を発信の場として完成したギャラリー。多くの方にその考え方に触れてもらい共感していただき、『木の家の良さ』、『自然素材の持つ力』を体感し、本物素材だけが持ち得る『家のチカラ』を実感していただきたいと願っています。

その素材の中でも漆喰の持つチカラ、受け継がれていく職人の技に触れていただければ幸いです。



選考評

漆喰が塗られた国の重要文化財として我が国最北のものである。擬洋風建築の大規模な改修工事というだけでなく、120年の風雪と極寒に耐えてきた内外壁の漆喰は木摺りから40ミリも塗り重ねるという国内でも例が少ないものである。施工にあたっては、多くの若手左官を起用し、左官技術の伝承の場として、次世代につなぐ貴重な機会が実現した。北海道を代表する歴史的建造物、そして左官技術を未来へ伝える道標として、是非多くの方に訪れてもらいたい。



所在地	北海道旭川市春光5条7丁目
竣工	2017年10月
設計者	公益財団法人文化財建造物保存技術協会
施工者	多東・タカハタ共同企業体
左官	福田左官工業株式会社

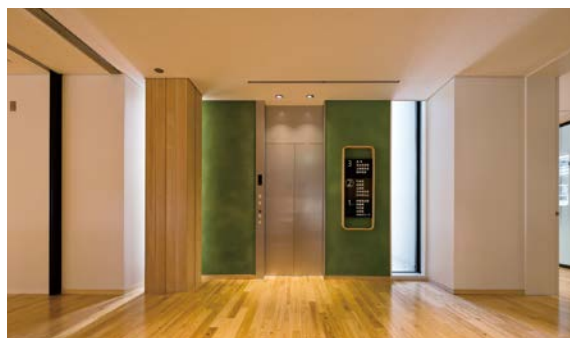
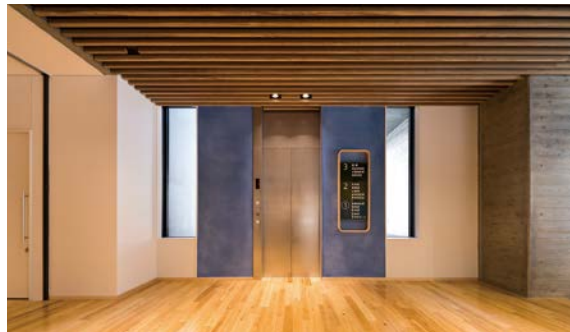
受賞者のコメント／左官 福田修二

北海道と命名されて150年の節目の年に受賞をいただき、大変、光栄に思っております。今回120年前の漆喰工事の復元工事に携わることができ、貴重な経験をさせていただきました。関係各位のご協力をいただきながら、そして若年職人の技術の継承を図りながら施工できたことに感謝致しております。今後、この建物が100年、200年と保存され、次世代へ伝わればと願っております。



選考評

町名でもある仁淀川が流れる自然豊かな山あいの町に、新たに建てられた新庁舎である。地場産木材を多用した温もりあふれる建物の内部を、弁柄や松煙、さらには仁淀川の清流のブルー、山々や土佐茶のグリーンなどのイメージに塗り分けて彩られた土佐漆喰が、空間に新鮮な変化をあたえながら、漆喰の質感が庁舎にふさわしい重厚な雰囲気を漂わせている。



所在地	高知県吾川郡仁淀川町大崎 200 番地
竣工	2017 年 10 月 31 日
設計者	久米設計・ASA 設計事務所特定設計業務共同企業体 竹田芳之・田中健一
施工者	大旺新洋・仁淀工業特定建設工事共同企業体 中島秀展・上岡和男
左 官	有限会社竹崎工務店 竹崎照夫

受賞者のコメント／設計者 竹田 芳之

町は清流仁淀川の源流域にあり、施設は免震構造他でBCPに備える一方、自然エネルギー活用等環境共生庁舎の実現に努めた。中核部の木造化や共用部・議場に地場産材を多用するなど温かな空間を創出する手法の一つとして、町章の三色、川の青・山々の緑・人の力の赤を土佐漆喰で各階に塗り分けた。受け継がれた素材と技を現代的に再生することで、この地に相応しい空間を実現している。



選考評

仏塔の形式の一つ多宝塔が新たに建立されるにあたり、漆喰で施工された亀腹である。新たな多宝塔建立ということに注目されているが、亀腹の曲面と直線に効果的に対応させるための下地作りから本漆喰に至るまでの施工仕様や、仕上げる鰻の選定と均一な仕上げなど、熟達した左官技術あってこそ、この優美な姿であることを理解いただきたい。



所在地	熊本県玉名市築地 2288
竣工	2017 年 8 月
設計者	株式会社匠社寺建築社 大浦俊介
施工者	株式会社匠社寺建築社 大浦俊介
左官	株式会社富士工舎 荒木富士男

受賞者のコメント／設計者・施工者 大浦俊介、左官 株式会社富士工舎 荒木富士男

工事着工間に熊本地震が起り現場も震度 6 弱の揺れに見舞われましたが、皆さんの復興・希望の塔となるようにと思いを入れました。このような機会を作って頂いたお施主様、また見事な左官工事をして頂いた富士工舎様にはこの場を借りてお礼申し上げます。（設計者・施工者）

多宝塔の亀腹は、かねてから手掛けて見たかった仕事。（株）匠社寺建築社様との御縁で、念願が叶ったの工事でした。滑らかな曲面を出すために凸凹や鍍斑の無いように丁寧に鍍を操作しながら丹念に塗籠めました。オリジナル漆喰とともに夢が実現できたことは左官冥利につきます。（左官）

L

ist of Address

p-08-09 旧猪子家 活用プロジェクト	設 計 者	／ m5_architecte 一級建築士事務所 六浦基晴 〒481-0033 愛知県北名古屋市西之保中屋敷 11	TEL : 050-5885-0645	
	施 工 者	／ 東原建築工房 東原達也 〒517-0503 三重県志摩市阿児町立神 271-2	TEL : 0599-45-2911	FAX : 0599-45-2911
	左 官	／ 佐藤左官 佐藤重美 〒517-0502 三重県志摩市阿児町神明 1007-5	TEL : 0599-43-2315	
p-10-11 東京女子学院 エントランスホール	設 計 者	／ 株式会社塩田設計事務所 塩田純一 〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-36-10-403	TEL : 03-6907-1334	FAX : 03-6736-0433
	施 工 者	／ 株式会社佐藤秀 小山恒雄 〒160-8433 東京都新宿区新宿 5-6-11	TEL : 03-3225-0310	FAX : 03-3225-0361
	左 官	／ 有限会社木村左官工業所 木村一幸 〒112-0005 東京都文京区水道 2-13-7	TEL : 03-3811-8480	FAX : 03-3817-0426
	写 真	／ 長谷川健太		
p-12-13 相国寺本山寺務棟 増築	設 計 者	／ 株式会社竹中工務店 野田隆史・二宮卓也 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 4-1-13	TEL : 06-6252-1201	FAX : 06-6263-9730
	施 工 者	／ 株式会社竹中工務店 八田寛之・笠 義秀 〒604-8811 京都府京都市中京区壬生賀陽御所町 3-1	TEL : 075-801-2131	FAX : 075-801-4066
	左 官	／ 木津工業所 木津恵雄 〒605-0081 京都府京都市東山区古門前通大和大路東入 2 丁目三吉町 344	TEL : 075-561-3244	FAX : 075-531-5424
	写 真	／ 古川泰造		
p-14-15 前橋市重要文化財 臨江閣保存整備工事	設 計 者	／ 特定非営利活動法人景観建築研究機構 〒371-0805 群馬県前橋市南町 3-27-24	TEL : 027-289-8018	FAX : 027-290-3889
	施 工 者	／ 株式会社竹中工務店 北関東支店 〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1	TEL : 03-6810-5000	FAX : 03-6660-6012
	左 官	／ 株式会社あじま左官工芸 〒125-0062 東京都葛飾区青戸 8-19-11	TEL : 03-3690-2108	FAX : 03-3690-4027
		群馬県左官工業協同組合 〒371-0853 群馬県前橋市総社町 3-1-8 (左官研修会館内)	TEL : 027-253-1172	FAX : 027-253-1172
p-16-17 家族の想いを 子ども達に受け継ぐ 三世代の古民家	設 計 者	／ 一般社団法人静岡県古民家再生協会 三ツ井 仁 〒424-0944 静岡県静岡市清水区築地町 8-10	TEL : 054-340-2264	
	施 工 者	／ すまい工房 有限会社三ツ井工務店 三ツ井 孝 〒424-0858 静岡県静岡市清水区大沢町 10-22	TEL : 054-352-9808	FAX : 054-355-0314
	左 官	／ 有限会社山梨工業 山梨直人 〒424-0112 静岡県静岡市清水区伊佐布 765-11	TEL : 054-368-1690	FAX : 054-368-1691
	写 真	／ アーキフォト株式会社 建築写真家 田岡信樹		
p-18-19 桜梅桃李園	施 工 者	／ 福島恒久 〒327-0317 栃木県佐野市田沼町 335-5		
	左 官	／ 福島恒久 〒327-0317 栃木県佐野市田沼町 335-5		
	写 真	／ 福島恒久		

p-20-21 升敏明様 店蔵保存修理工事	設 計 者	株式会社三浦建設 三浦 稔 〒989-1302 宮城県柴田郡村田町大字小泉字北成生 96-1	TEL : 0224-83-2339	FAX : 0224-83-3853
	施 工 者	株式会社三浦建設 三浦 稔 〒989-1302 宮城県柴田郡村田町大字小泉字北成生 96-1	TEL : 0224-83-2339	FAX : 0224-83-3853
	左 官	庄司左研 庄司 徹 〒981-0954 宮城県仙台市青葉区川平 2-9-48	TEL : 022-719-2256	FAX : 022-719-2256
p-22-23 ススキの原 一の湯	設 計 者	株式会社 KADO 一級建築士事務所 笠松 豊 〒154-0001 東京都世田谷区池尻 1-7-6	TEL : 03-5787-8494	FAX : 03-5787-8495
	施 工 者	株式会社フレンズ・建築事務所 田子保隆 〒180-0006 東京都武蔵野市中町 1-39-12	TEL : 0422-38-5461	FAX : 0422-38-8741
	左 官	株式会社かべ将 遠藤将士 〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町 2-2-40	TEL : 048-756-5566	FAX : 048-756-5085
p-24-25 (株)未来工房 やかまし村の ギャラリー	設 計 者	株式会社未来工房 片多和也 〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 731	TEL : 0942-32-4612	FAX : 0942-35-8801
	施 工 者	株式会社未来工房 樋口 諭 〒830-0047 福岡県久留米市津福本町 731	TEL : 0942-32-4612	FAX : 0942-35-8801
	左 官	高山左官店 高山富昭 〒827-0000 福岡県田川郡川崎町下真崎 5272-1	TEL : 0947-72-5749	FAX : 0947-72-5759
p-26-27 中原悌二郎記念 旭川市彫刻美術館 (旧旭川偕行社)	設 計 者	公益財団法人文化財建造物保存技術協会 〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西 3-3	TEL : 011-215-1781	FAX : 011-215-1782
	施 工 者	多東・タカハタ共同企業体 〒070-0039 北海道旭川市九条通 9 左 10	TEL : 0166-26-0211	FAX : 0166-22-3866
	左 官	福田左官工業株式会社 〒070-0014 北海道旭川市新星町 1-1-18	TEL : 0166-24-8688	FAX : 0166-24-8677
p-28-29 仁淀川町本庁舎	設 計 者	久米設計・ASA 設計事務所特定設計業務共同企業体 竹田芳之・田中健一 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-10-8	TEL : 06-6444-1161	FAX : 06-6444-1167
	施 工 者	大旺新洋・仁淀工業特定建設工事共同企業体 中島秀展・上岡和男 〒781-0112 高知県高知市仁井田 1625-2	TEL : 088-847-2114	FAX : 088-847-5380
	左 官	有限会社竹崎工務店 竹崎照夫 〒781-1803 高知県吾川郡仁淀川町別枝 2663-10	TEL : 0889-32-1651	FAX : 0889-32-2334
p-30-31 蓮華院誕生寺 多宝塔	設 計 者	株式会社匠社寺建築社 大浦俊介 〒811-1235 福岡県那珂川市成竹 921	TEL : 092-953-6278	FAX : 092-953-6281
	施 工 者	株式会社匠社寺建築社 大浦俊介 〒811-1235 福岡県那珂川市成竹 921	TEL : 092-953-6278	FAX : 092-953-6281
	左 官	株式会社富士工舎 荒木富士男 〒811-1245 福岡県那珂川市別所 1103-1	TEL : 092-952-4170	FAX : 092-515-7418

W hat a great Shikkui.

漆喰とは

漆喰は、消石灰（水酸化カルシウム）と CO_2 との反応で固結するという原理 ($\text{Ca}(\text{OH})_2 + \text{CO}_2 = \text{CaCO}_3 + \text{H}_2\text{O}$) に基づく壁材であり、消石灰を主原料に、のりや繊維質を添加した壁材のことを「漆喰」といいます。

漆喰の建物は、世界各国に数多く存在します。漆喰の歴史は世界では数千年前より、わが国では1,300年前にさかのぼります。それは、原料である石灰が世界各地で産出可能であり、漆喰そのものが建物を守り彩る素材として、優れているからに他なりません。

石灰は現在輸入ゼロ。全て国内生産で賄える数少ない豊富な天然資源です。古代エジプト文明はピラミッドから始まり、ラスコーを経て、中国は敦煌、そして日本の高松塚古墳や法隆寺へ・・・その国々の代表的建造物の壁を彩るのは漆喰です。

■こんなにある！漆喰を使う理由

1. 漆喰は湿度を調整し、結露から来るカビやダニを防止します。
2. 漆喰は悪臭やホルムアルデヒドなどのVOCを吸着する機能があります。
3. 漆喰は静電気が発生せず、ビニールクロスよりもはるかに汚れにくい仕上げです。
4. 漆喰には有害な物質が含まれておらず、廃棄されても環境に優しい素材です。
5. 漆喰はそのアルカリ性で、抗菌作用が長期間持続します。

■鳥インフルエンザの予防や口蹄疫の防疫・消毒に

漆喰の主原料である消石灰は、鳥インフルエンザや口蹄疫の防疫・消毒に撒かれております。鳥インフルエンザに対する有効性がパスツール研究所（フランス リール市）への委託研究で実証されました。

S

hikkui is incombustible material.

不 燃 材 料

平成16年10月1日に施行された国土交通省告示第1178号において「しっくい」は不燃材料に定められていますが、日本漆喰協会では告示の「しっくい」と差別化するため、「既調合しっくい」の組成を明確に定め、不燃材料の国土交通大臣認定を取得しました。

■せっこうボード下地による仕様で「不燃材料」を取得

下記の二種類の仕様で国土交通大臣認定を取得しています。

①NM-4569(1)…消石灰系塗材・カルシウム系塗材塗／せっこうボード

②NM-4569(2)…消石灰系塗材塗／せっこうボード

※既調合しっくいは防火上、「消石灰系塗材」と呼称します。

※詳細は各社の施工マニュアルによります。

■準不燃9.5mmのせっこうボードへの直塗りでも不燃性が実証

準不燃9.5mmのせっこうボードに最小厚0.5mmの既調合しっくいを直接塗りつけた場合（下塗材なし）でも不燃性を有することが実証されました（NM-4569(2)）。これにより、一般住宅等の空間でもご活用いただけるようになりました。

■日本漆喰協会の審査に合格した「既調合しっくい」

日本漆喰協会では、不燃材料認証委員会の審査に合格した既調合しっくいに国土交通大臣認定書の使用権を付与しています。

■日本漆喰協会の定める「既調合しっくい」の定義

消石灰を主原料（固化材）とし、のり、繊維、無機質骨材、有機質添加剤などを製造工場において調合・加工したプレミックス製品で、粉末状またはクリーム（練りもの）状である。

主原料である消石灰は、ドライベース換算で上塗り用は50mass%以上、中塗り用は30mass%以上含有しなければならない。

「第 13 回 日本漆喰協会作品賞」受賞作品集

主催	日本漆喰協会
協賛	一般社団法人日本左官業組合連合会
編集	第 13 回 日本漆喰協会作品賞審査委員会
デザイン	株式会社 報光社
印刷	株式会社 報光社
発行者	日本漆喰協会
発行	平成 30 年 10 月

日本漆喰協会
105-0001 東京都港区虎ノ門 1-1-21 日本石灰協会内
TEL 03-3504-1601 FAX 03-3593-1604
URL <http://www.shikkui.gr.jp/>

※無断に転載、複写を禁じます。

JSA
japan shikkui association

